

第3次福岡市動物愛護管理推進実施計画 令和7年度実施状況

令和7年9月末時点

1 数値目標と実績

目標1 殺処分頭数	
犬(令和2年度 10頭)	→ <u>5頭以下</u> (令和13年度まで)
猫(令和2年度 234頭)	→ <u>100頭以下</u> (令和13年度まで)
令和2年度実績の概ね2分の1	
実質的殺処分ゼロを継続するとともに、収容頭数の削減や譲渡の推進により、重篤な病気等を理由としたやむを得ない殺処分などの更なる削減を目指します。	

【実績】

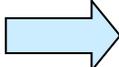
犬

年度	2	3	4	5	6	7
収容後死亡	4	3	0	2	2	0
譲渡不適	6	1	0	3	1	1
実質的殺処分	0	0	0	0	0	0
殺処分計	10	4	0	5	3	1
譲渡	30	52	28	25	28	10

猫

年度	2	3	4	5	6	7
収容後死亡	43	45	38	39	29	8
譲渡不適	191	124	170	129	86	24
実質的殺処分	0	0	0	0	0	0
殺処分計	234	169	208	168	115	32
(うち子猫)	(179)	(115)	(109)	(97)	(68)	(17)
譲渡	119	171	92	127	156	49

目標2 犬猫の収容頭数

犬(令和2年度 104頭)  50頭以下 (令和13年度まで)
 猫(令和2年度 361頭) 180頭以下 (令和13年度まで)
 令和2年度実績の概ね2分の1

飼い主責任の徹底や飼い主のいない猫のみだりな繁殖の防止などにより、収容頭数削減を目指します。

【実績】

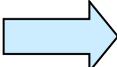
犬

年度	2	3	4	5	6	7
捕獲	11	17	7	7	15	3
引取(飼い主)	16	28	18	9	19	2
引取(飼い主不明)	75	75	48	55	33	26
負傷	2	1	0	0	1	0
収容計	104	121	73	71	68	31
返還	65	58	45	44	37	23

猫

年度	2	3	4	5	6	7
引取(飼い主)	17	6	77	71	91	25
(うち子猫)	(0)	(0)	(8)	(1)	(25)	(0)
引取(飼い主不明)	292	296	204	186	157	57
(うち子猫)	(267)	(249)	(162)	(162)	(133)	(54)
負傷	52	50	38	41	24	15
(うち子猫)	(16)	(12)	(10)	(16)	(9)	(7)
収容計	361	352	319	298	272	97
(うち子猫)	(283)	(261)	(180)	(179)	(167)	(61)
返還	8	9	5	9	12	2

目標3 苦情件数

令和2年度 苦情件数
 犬猫合計 618件  300件以下 (令和13年度まで)
 令和2年度実績の概ね2分の1

飼い主責任の遵守や飼い主のいない猫への不適切な給餌などによる迷惑防止の指導啓発により、苦情件数の削減を目指します。

【実績】

年度	2	3	4	5	6	7
犬	155	165	169	157	175	91
猫	463	400	318	228	216	52
合計	618	565	487	385	391	143

目標4 犬の登録と狂犬病予防注射

飼育されている犬すべての登録と年1回の狂犬病予防注射の実施
 (令和13年度まで)

【実績】

年度	2	3	4	5	6	7
累計登録	71,412	73,463	62,878 [※]	63,619	66,253	67,886
新規登録頭数	5,617	5,645	5,220	6,286	5,017	2,875
注射実施頭数	36,649	37,960	39,212	40,003	41,359	32,504
注射実施率(%)	51.3	51.7	62.4	62.9	62.4	47.8

※狂犬病予防法施行令の改正により所在不明の犬の登録データの削除を実施

2 具体的施策の令和7年度の実施状況

動物愛護・適正飼育の推進

1 飼い主責任の啓発

- 動物愛護管理センターの公式Instagramを活用し、
収容情報や譲渡情報、適正飼育の啓発等を発信しました。
フォロワー数 738（令和7年11月7日時点）



2 不妊去勢手術の徹底

- 福岡市獣医師会との共働事業として、飼い猫の不妊去勢手術とマイクロチップの装着を同時に行う際の費用の一部助成を行いました。
募集頭数 200頭、助成額 7,500円/頭
支援頭数 77頭（令和7年10月末時点）

3 ワンヘルスの推進

- 令和7年7月6日に「福岡市ワンヘルス推進宣言」を行いました。
- ダニが媒介する人獣共通感染症について、感染症対策部署と連携し、動物病院で従事する方や動物の飼い主を対象に注意喚起を行いました。
- ワンヘルスに関するパネル展示や、啓発冊子の配布を行いました。
 - ①環境局主催「生きものと私たちの暮らし展」
令和7年5月20日～5月26日、福岡市役所1階多目的スペース
 - ②動物愛護週間行事「動物愛護に関するパネル展」
令和7年9月20日～9月26日、福岡市役所1階多目的スペース
 - ③保健環境学習室「まもる一む福岡」でのパネル展示
令和7年9月19日～9月27日

飼い主のいない猫問題対策

1 収容頭数削減のための取組み

- 動物愛護管理センターの収容頭数の多くを占める、飼い主のいない猫の繁殖制限を推進するため、「飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進事業」を実施しました。
 - 実施主体
飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進協議会
 - 支援内容
不妊去勢手術無償実施（協力動物病院 49病院）
捕獲器の貸出、猫の捕獲、動物病院への運搬等
 - 令和7年度支援予定頭数 1500頭

【手術支援実績】

●選定枠（500頭）※野良猫が多くトラブルが発生している地域を選定

区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	合計
支援頭数 (10月末時点)	114	72	23	21	22	30	59	341
手術頭数 (9月末時点)	106	36	16	18	11	10	26	223

●公募枠（1000頭） ※ホームページで募集（1回の応募で1人3頭まで）

	1回目 (5月)	2回目 (7月)	計	補充募集 (10月)
申込	834頭 (309件)	1,138頭 (418件)	1,972頭 (727件)	785頭 (294件)
交付	500頭 (185件)	500頭 (185件)	1,000頭 (370件)	300頭 (158件)
手術実績 (9月末)	538頭 (237件)			—

2 地域猫活動の支援

■地域の飼い主のいない猫問題解決のため、不妊去勢手術の無償実施や地域説明会の実施などの支援を実施しました。

手術支援は「飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進事業」に移行。

【地域猫活動への支援実績】

年度	2	3	4	5	6	7
不妊去勢手術頭数	294	367	233	159	103	20
新規指定地域数	9	6	10	4	3	—
更新支援地域	5	12	15	21	12	—

3 飼い主のいない猫への不適切な給餌防止対策

■市民からの指導依頼を受け、不適切な給餌行為を行っている者に対し、指導を行いました。（指導票交付及び勧告の実績なし）

【飼い主のいない猫に関する苦情内容と件数】

糞尿など	21
不適切な給餌	19
車など物への被害	2
合計	42

譲渡の推進

1 譲渡事業の充実

■収容動物の動物病院での診断委託（R7.6.16 開始）及び治療

- ・ 診断委託 犬 2 頭、猫 1 頭
- ・ 治療 猫 1 頭 （令和 7 年 10 月末時点）

■譲渡候補犬猫や譲渡犬を一般家庭での生活に慣らすため、収容期間中にボランティアに預けて飼育する「預かりボランティア制度」を実施しました。

- ・ 登録ボランティア 5 名
- ・ 預け実績 猫 4 頭

■譲渡犬猫の譲り受け希望者の中に、先住動物との相性や動物アレルギーなどに不安を覚える方がいるため、不安の解消を図るとともに、譲渡後の問題発生を防止することを目的に、譲渡前に一定期間ならし飼育を行う「飼育トライアル」を実施しました。

- ・ トライアル実績 犬 5 頭、猫 4 頭（全て正式譲渡）

■大型商業施設での譲渡相談会の開催

- ・ イオンモール福津 3 回（偶数月第 2 日曜日）
 - ・ イオンスタイル笹丘※ 3 回（奇数月第 2 日曜日）
- ※「わんにゃんよかイベント」として実施

多頭飼育問題対策

1 関係機関との連携

■地域包括支援センター等と連携し、多頭飼育に陥った高齢者等の事例について協議を行い、対応しました。

- ・ 対応事例 3 件

2 多頭飼育問題防止のための啓発

■苦情対応等で把握した多頭飼育の飼い主に対し、福岡市が定める多頭飼育の届出制度について説明を行い、提出を促しました。

【多頭飼育届出状況】

年度	犬のみ	猫のみ	犬と猫	計
2	5	—	2	7
3	3	4	1	8
4	0	0	2	2
5	1	0	1	2
6	1	1	1	3
7	0	0	0	0
累計	11	7	10	28

■猫の多頭飼育により「飼い主の生活状況の悪化」、「猫の状態の悪化」、「周辺の生活環境の悪化」といった問題が生じている猫の多頭飼育者に対し、不妊去勢手術の支援を行いました。

○飼い主のいない猫等の不妊去勢手術推進事業

・令和7年度支援予定頭数：100頭

【手術支援実績】

区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	合計
支援件数 (10月末時点)	1	0	0	0	0	0	0	1
手術頭数 (9月末時点)	15	0	0	0	0	0	0	15

3 問題のある多頭飼育者への指導啓発

■近隣からの苦情があった多頭飼育者に対し、適正飼育や不妊去勢手術の必要性などについて指導及び勧告を実施しました。

指導票交付件数 5件、勧告件数 2件

【多頭飼育の苦情件数】

年度	犬			猫		
	戸建て	集合住宅	計	戸建て	集合住宅	計
2	1	2	3	13	4	17
3	2	0	2	12	3	15
4	1	0	1	4	2	6
5	0	0	0	5	3	8
6	0	0	0	6	5	11
7	0	0	0	0	2	2

監視指導

1 動物取扱業者の監視指導

- 動物取扱業の登録等を行うとともに、第一種動物取扱業者については、飼養管理基準等の遵守状況を確認するため、施設への監視を行いました。

【動物取扱業の件数、監視実績】

		年度	2	3	4	5	6	7
第一種動物取扱業	登録件数	販売	197	191	190	192	189	187
		保管	337	350	347	356	375	378
		貸出し	17	20	19	20	19	17
		訓練	48	47	41	39	38	34
		展示	55	57	58	56	64	64
		譲受飼養	4	2	3	3	2	1
	施設実数		516	523	518	520	541	541
監視施設数		248	152	198	170	185	72	
動物取扱業 第二種	届出件数	譲渡	10	12	14	14	11	11
		保管	3	3	3	3	2	2
		訓練	1	1	1	1	0	0
		展示	1	1	1	1	0	0
	施設実数		10	12	13	14	11	11

- 施設への監視において問題のあった業者に対し、飼育環境の改善などについて指導及び勧告を実施しました。

指導票交付件数 4件、勧告件数 2件

マイクロチップ装着の推進

1 所有者明示とマイクロチップ装着の推進

■犬猫のマイクロチップ装着を推進するため、飼い犬、飼い猫にマイクロチップを装着する際の費用の一部助成を行いました。

- ・募集頭数 100 頭、助成金額 1,500 円/頭
- ・助成頭数 22 頭（令和6年度）

■「狂犬病予防法の特例制度」により、環境省にマイクロチップの情報登録を行った犬について、マイクロチップを鑑札とみなし、登録を行いました（R5.3.1～）。

- ・R6年度の特例による新規登録頭数 4,351 頭
- 【特例制度参加による飼い主メリット】
 - 窓口での手続きや登録手数料（3,000 円）が不要
 - 犬への鑑札装着が不要（鑑札紛失のリスクなし）

2 マイクロチップの登録情報の変更手続きの啓発

■動物愛護管理センターホームページや各種啓発イベント、犬猫の譲渡講習時に、マイクロチップ登録情報の変更手続きについて啓発を行いました。

狂犬病予防

1 利便性を考慮した集合注射会場の設定

■土日の集合注射会場について、利用者の利便性を考慮してホームセンターでの実施を拡大することで、実施率の向上を図りました。

【ホームセンターでの注射頭数】

4月～5月	7会場（7日間）	995頭／集合注射実績 2,225頭
10月～11月	1会場（1日間）	87頭／集合注射実績 214頭

2 周知啓発の充実

■市政だより、動物愛護管理センターのホームページ及びInstagram、啓発イベントにおいて、狂犬病予防注射の周知啓発を行いました。

共働の推進

1 関係部署や関係機関との連携

■県警察本部と福岡県、北九州市、久留米市、福岡市の動物愛護担当部署との連携会議に参加し、情報交換を行いました。

2 動物関係団体等との連携及びボランティアの受入れ

■動物関係団体やボランティアと連携し、わんにゃんよかイベントなどの啓発イベントを実施しました。

また、福岡市獣医師会、登録ボランティアとの共働により、動物愛護管理センターに収容された子猫を哺育し、離乳した後に譲渡する「ミルクボランティア事業」を実施しました。

【ミルクボランティア実績】

年度	ボランティア 新規登録数	哺育 頭数	哺育中 死亡等	譲渡済	動物病院 での譲渡
2	18	59	2	57	54
3	20	100	0	100	93
4	14	45	0	45	39
5	9	63	1	62	51
6	8	77	3	74	61
7	5	42	0	31	27

1 災害発生時の対応

- ペット防災セミナー「防災意識を高めよう～ペット防災の実情と日頃の準備～」を開催し、市民にペットとの避難について考えてもらい、事前準備の必要性を理解してもらいました。

日程：令和7年9月24日

場所：福岡市南区西長住 1-12-45

P2 西長住店 Love Nature Charity 棟

講師：NPO 法人ペット防災ネットワーク理事長 富士岡 剛 氏

参加人数：11名

- 飼い主とペットが同室で過ごすことができるペット同伴者専用避難所を動物愛護管理センターに試行的設置しました。

・ 開設実績（令和7年10月末時点）

開設回数：2回

避難者数：0名

(1) 8月10日～8月12日：大雨のため 両センターで開設

(2) 10月4日：大雨のため 短時間の開設

東部動物愛護管理センターのみ開設